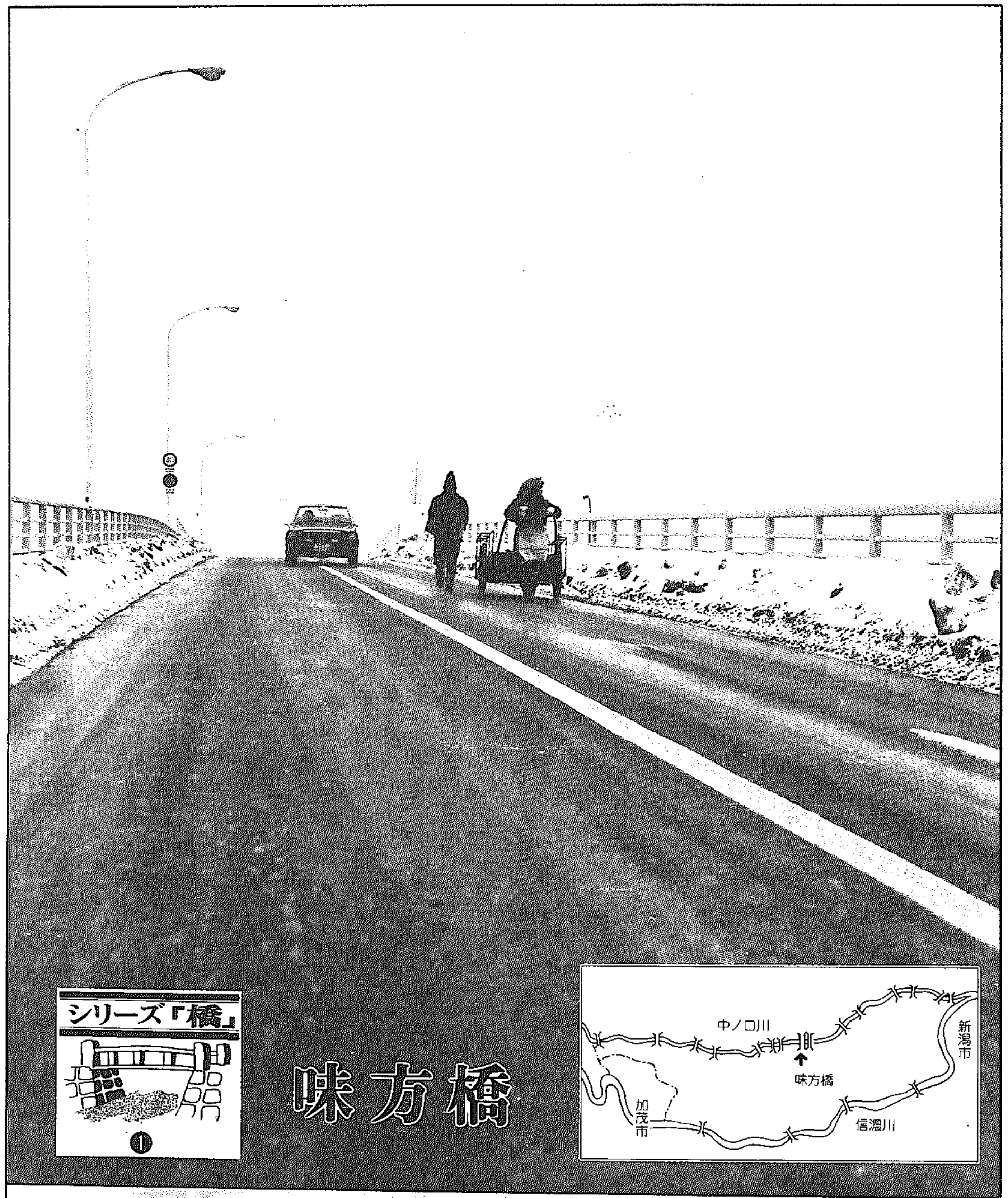


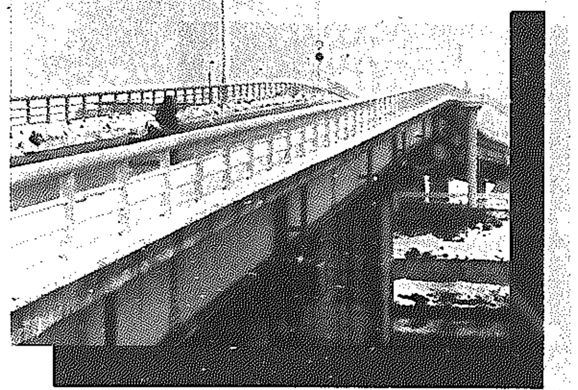
広報 しろね

2/1 No339
毎月1・15日発行
発行日／昭和59年2月1日　発行所／白根市役所

健康で働く豊かなまちづくり

（白根市民憲章から抜すい）

今月の表紙



対岸の味方村との経済交流の要として、重要な役割を果たしている味方橋は、堤防のかさ上げ工事で昭和50年に架け替えられました。全長240㍍で、中ノ口川と電鉄線路をひとまたぎしています。この橋の完成で、新潟地震にも耐えた旧橋は、43年間の役目を終え姿を消していき、今はその橋脚を利用して歩道橋が架けられています。

平野の植物

資料・写真提供＝白根地区理科教育センター（☎(72)2924）

ノミノフスマ（ナデシコ科）

花がハコベそっくりであるが、葉は細く、淡い緑色で無毛である。小さな葉をノミのふすま（夜具、ふとん）に見たててつけられた名だという。

似たものにノミノツヅリがあるが、これは茎や葉に毛があり、花びらがさけていない。

情報

記号の説明
◷とき
⌂ところ
☺対象者
□内容
❓問い合わせ

情報センター297は、市民の皆さんから自由に使っていただくコーナーです。掲載申し込みは、電話で1日号は前月15日、15日号は1日までに広報広聴係（☎(73)2111内297）へ

庄瀬地区

地区芸能祭　地区民総出のにぎやかな芸能祭をぜひご覧ください　◷2月19日　9時30分〜15時　⌂庄瀬中学校体育館　□踊りや歌など　☺地区民どなたでも　❓地区公民館（☎(72)2901）

小林地区

地区親善卓球大会　◷2月19日　8時〜　⌂小林小学校体育館　□部落単位でチームを編成（小学生と一般の2チーム）　☺小学生以上の地区民　❓地区公民館（☎(72)3033）

ご参加ください

障害者親睦新年会　あなたも参加して仲間の和を広げてみませんか　◷2月12日　正午〜16時　⌂老人福祉センター　☺市内及び近郊の在宅障害者と障害者を介助するボランティア　□参加費＝600円　❓大那　稔（下古川・☎(72)2077）

自然に親しむ親子の集い　赤松林を親子歩くスキーで心地よい汗を流してみませんか　◷2月18・19日　⌂県少年自然の家　☺小・中学生とその親100人　□親子歩くスキー、交歓のつどい、映写会など　経費は一人1800円　❓県少年自然の家（〒959-29北蒲原郡中条町大字乙・☎0254㊻2804）へ電話で問い合わせてから、2月10日までにはがきでお申し込みを

お知らせします

16ミリ映写機の操作免許講習会　◷2月16・17日　8時45分〜16時　⌂青年教育センター　□資料代1000円。印鑑持参。最終日に認定試験　❓2月10日までに社会教育課指導係（☎(73)3171）

募集します

ボランティア募集　ハンディのある人と共に活動してくれるボランティアを募集します　☺市内に在住または通勤、通学している人。高校生、男性のかた歓迎　❓そしあるサークル（渋谷悦夫・老人福祉センター内・☎(73)3096）

さしあげます

広報紙つづり表紙　広報しろねをつづる表紙を、希望する人にさしあげます。希望する人は、企画財政課広報広聴係までおいでください。部数に限りがありますので、希望する人はお早目に

編集ルーム

▶今月の表紙から、本市の河川に架かる「橋」を、シリーズで紹介します。信濃川、中ノ口川に囲まれた白根島とも呼ばれる本市だけに、橋の重要性は言うまでもありません。▶市で管理している橋の数は57年4月1日現在で388 。それに、国や県などのいろいろな機関が管理しているものを合わせると、400 以上にもなるといわれます。▶地先の小さな橋から大型車輌がいきかう大きな橋まで、どれも私たちの日常生活に密着し、それぞれに姿を持っています。このシリーズでは、そんな橋の鼓動を表現することができればと思っています。

数字でみる市勢

1月1日現在
( )内は前月比

人口	34,199人（＋52人）
男	16,684人（＋33人）
女	17,515人（＋19人）
世帯	7,789世帯(＋20世帯)

12月中の

出生	35人	死亡	25人
転入	87人	転出	45人

250人――この数字は昨年1年間に増えた市民の数です。出生が442人、死亡が256人、転入が935人、転出が871人ありました。

■発行／白根市役所（新潟県白根市大字白根1235番地　☎0253(73)2111　〒950-12）■編集／企画財政課広報広聴係